

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：土原一二 幹事：山上啓介

情報委員長：米沢修一

1980・10月2日 第175号

“ 国際化 と は ”

金沢を世界へひらく市民の会・事務局長
松田 園子氏



友人のルース・スチーブンスが「金沢は私を育ててくれた。だからお礼の意味で金沢の英文ガイドブックを書きたい」と云った。その一言にジーンときた私は浅はかにも「よし、まかしといて」と口ばした。おかげで、その後ガイドブックが完成するまでの2年間ルースと何度も喧嘩をくり返し、議論をたたかわせる羽目となった。

第一は「おじぎ」論争。ガイドブック発行のため皆様におねがいに行かなければならないのに、アメリカ人のルースにとってはこれが大変な苦行であった。きびしい競争社会であるアメリカでは常に自分をよくみせようとする。人に頭をさげては落伍してしまう。「おじぎばかりしていたので、私の人格までがいやしくなった」とルースはこぼした。

第二は「契約」論争。日本で「お願いします」と頭をさげ、相手が「引きうけました」と答えればこれは互いの信頼関係にもとずくおごそかな誓いである。ところがアメリカ人にとっては契約書にサインした訳ではないので、他の別口へ「お願い」しても悪いことではない。むしろ合理的でさえある。

こういった衝突をくり返すうち、私には日本人である自分がみえてきた。ルースもまた自分がアメリカ人であることを再認識したことであろう。同質の人たちとつき合っても決して自分は見えてこない。異質の人達との対立、交流によって、はじめて自分がみえてくる。これだけは死守する、絶対に譲歩できないという自分の“核”となる部分と、世界のさまざまな文化、価値観にあわせて妥協してもよい部分のはっきりする。

国際化とは決して日本人らしさを失うことではない。伝統文化に根ざす自分を常に新たな目で見直すとともに、異質の文化、価値観をも視野におさめることだと思う。いわば「単眼」ではなく「複眼」をもつことではないだろうか。

— 金沢北RC例会講話から —

ロータリー財団奨学生 内海和子さんより



金沢では、毎日雨が降り続けていることと思います。皆様お変わりありませんでしょうか。皆様のおかげでこちらへ参りまして早くも2週間がたちました。ジョージアへ参ります前にバッファローに立ち寄りました。私のカウンセラーをしていただいております Whaley 氏及び Pfohl 氏とお会いしました。大変親切にしてください 心強く思う次第です。現在、金沢北ロータリークラブをホストクラブとし、交換留学生として桜ヶ丘高校で学んでおられる John Walenta 君のおかげで彼のお宅にしばらくお世話になりました。バッファロー空港で出迎えていただき、最後は朝早くにもかかわらず送っていただきました。秋にバッファローへ再び参ります時には John 君も帰っていることすし、また一度、御あいさつにうかがうつもりであります。

現在、ジョージア州のステーツボロという田舎町にあるジョージアサザン大学にて英語研修を受けております。確かにジョージアは暑いところです。バッファローの心地よさがウソのように思えます。しかし、湿度が低いのでムシ暑いということがないのが救いです。通例は冷房完備の寮で生活し、授業もおこなわれているのでよいのですが、日に三度の食事は歩いて10分ほどのカフェテリアまで行かなくてはならないし、午後の授業も別棟であることが多く、炎天下の中を歩いています。6月でこの暑さだと8月の太陽に耐えられるのか心配です。

ここの全責任者であられる Averitt 氏は本当によくして下さいます。アメリカ生活を経験したことのある者が数人しかおらず、ほとんどが何もかにもが初めて……という私たちに銀行での口座の作り方、小切手の使い方、ロータリークラブでの英語のスピーチのためのアドバイス等、いろいろと御指導して下さいます。お話もゆっくりはつきりとわかりやすく言って下さいますので、なんとか理解することができます。Averitt 氏は今年の11月に日本へ行かれ、日本での語学研修機関の御指導をなさるそうです。

先週の週末はこちらで知りあった友人と Savannah (サバンナ) 海岸まで参り、大西洋で泳いでまいりました。今まで日本海・太平洋でしか泳いだことのない私にとって貴重な(?)経験ではないでしょうか。ただこちらの知り合いのほとんどが日本人で(学生全体数の半分います) 会話も日本語が多くてこれで英語が進歩するのかしら……とフッと考えたりします。要は自分の努力と思うものの、仲々難しいようです。徐々にでよいから進歩したいものです。

私は3ヶ月研修グループで6月9日より授業でしたが、本日より2ヶ月研修グループの方が加わるので、また人数が増えます(現在23名から60名位になりそうです) その中にまた多くの日本人がいると聞いてます。

日本人がそれだけ多くこちらへ来れるということは、それだけ日本のロータリークラブが力をもっておられることではないでしょうか。そういうことを考えると誇らしく思えます。

ほんとうにどうもありがとうございました。ロータリー財団奨学生としてその名に恥ずかしくないように精一杯努力したいと思えます。

6月21日

金沢大学法文学部 内海和子

261地区来日青少年交換学生一覧表

1980年8月受入者

氏名	性別	国名	地区	スポンサー クラブ	ホスト クラブ	ホスト高校	ホスト家庭
ヘルガ コールマイヤー	女	カナダ	709	キッチンナー	金沢	金沢大付 附属高校	中村外志郎
アランジョン ハンセル	男	カナダ	709	ダングラス	金沢東	金沢二水高校	山宮外雄・大沢太計雄 松本巖夫・竹松俊孝
ハミルトン スターケイ	男	カナダ	709	キッチンナー	金沢南	金沢泉丘高校	中田成正・岡部雅夫
シャロン デイ	女	米国	709	バッフアロー	金沢西	金沢女子短大 付属高校	田川一明・渋谷弘利・井上三郎
ジュデイ ピアンキ	女	米国	712	ホネオエ	金沢北	星稜高校	大村精二・土原一二 <i>水田和志・本岡三太郎</i>
リンダ ボット	女	米国	712	ホネオエ	小松	小松高校	徳田正彦・浮田米作・西外次郎 黄木茂・三ツ村政二
アリソン マーシャル	女	米国	712	ワトキンス モンツール	小松東	明峰高校	中田武太・与三野兼治 嶋多龍夫・神田次雄
デビット アスバリ	男	米国	699	マイアミ南	富山南	富山東高校	稲垣英一
マーク デント	男	米国	725	フラッシング	魚津西	魚津工業高校	船崎嘉一・加納隆・宮本秀雄 野沢義晴・吉田築夫
ロスリン エルムスリー	女	オーストラ リア	968	ワールンガ	富山	富山中野高校	宮本次郎・奥井弘・高田勝之 沢田和男
リサ シヤンドー	女	オーストラ リア	975	マリックビル	高岡西	高岡日大高校	助野真造・荒井公夫・小林猛雄
アドリアナ ケルテス	女	オーストラ リア	975	マローバー	輪島	輪島高校	高野成治・前田暁賢

情報抄録

クラブ奉仕

米国のある元地区ガバナーが、クラブ奉仕をするのにはどうすればよいか、という題目で話をしたときに次のような質問を出した。「皆さんは、頼まれたら委員会の委員になりますか。例会であまりよく知らない人の隣に座ったときの最後はいつですか。これまで誰かを会員に推薦したことがありますか。仲間同士の気持ちになれるようにしてあげるために友人を会合に連れ出したときの最後はいつだったでしょうか。自分のクラブのやっていることに満足していますか。満足していないとしたら、それをどう改めることにするかについて自分の考えを発表したことがありますか」。

職業奉仕

「どうしてロータリー・クラブは、会員をそれぞれ業種を異にした実業または職業ごとに1名とする制限を設けているのか」という質問をよく受ける。これは実際にやってみてわかったことだが、こうすると、みんなを気の合った仲間同士にすることができるし、仕事や職業のうえでのねたみといったようなものも無くて、お互いの間の助け合いを促すことになるし、また、みんなが自分の仕事や職業の尊さを考えてそれに誇りを感じるようになり、そして、ほかの職業の人のあげた業績、もっている問題に対して広い心、思いやりの気持ちをもつようになるからである。

—ポール・ハリス—

